

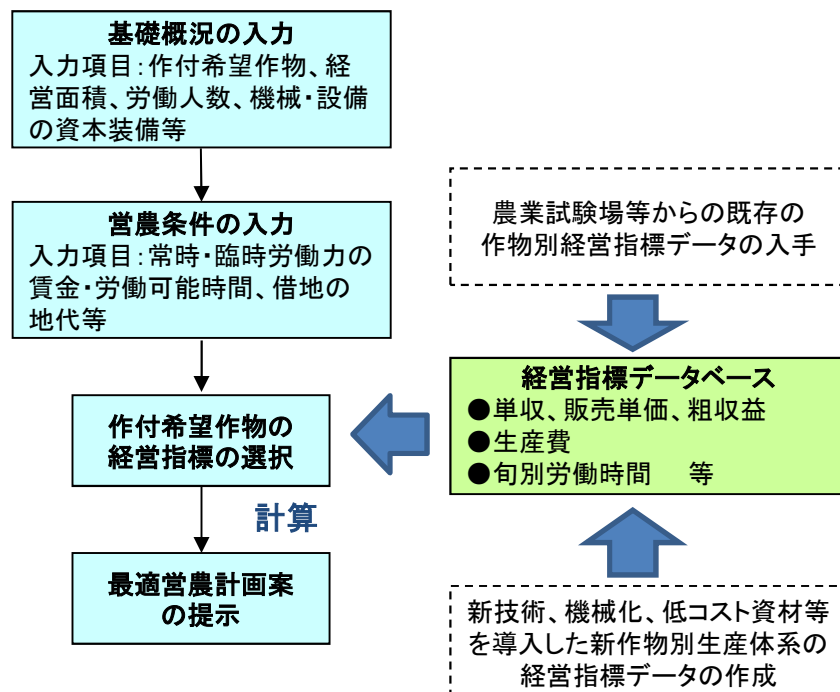
32 営農計画策定支援システム(Z-BFM)の活用

- 農研機構と全農が共同開発した営農計画シミュレーションシステムです。
- 経営指標データ(作物別の収量、単価、生産費、労働時間など)および作付面積、雇用人数等の経営概況情報を入力することで農業所得を最大化できる営農計画案の作成が可能です。

【システムの概要】

本システムは作物別の粗収益、生産費、作業労働時間等の経営指標データをデータベース化し、対象農家の経営面積、労働力等の営農・経営条件および今後作付を希望する作物を入力することにより、対象農家の所得が最大となる営農計画案を引き出すことができる。

【システム操作の概念】



【新Z-BFMによる経営シミュレーション提案(例)】



経営改善策の検討例

- ◆生産資材コストの低減・・・低コスト肥料や農業大型規格の導入
- ◆閑散期に作物を導入・・・冬春栽培が可能な作物の導入
- ◆労働力の軽減・・・新規機械の導入、省力技術の導入

